

静岡市(北陸・中部ブロック)

【静岡地区・清水地区 2拠点】

【計画期間 平成28年4月～令和4年3月】

- ・ 静岡地区は、駿府城が築城されて以降は城下町としてのまちづくりが進められ、江戸期には日本で最も重要な政治拠点であった。
- ・ 清水地区は、清水港と共に発展してきたまちであり、この清水港は古くから水運・物流の拠点として栄え、現在も全国でも有数の特定重要港湾である。
- ・ 人口705, 238人(平成27年国勢調査) 面積1411. 90Km²

【前計画の概要】

○静岡地区は、「商業集積とまちのスケールを活かした快適で楽しい都市空間づくり」をコンセプトに、回遊性等の向上や、都市福利施設の利用者等の増加を目指し、新静岡セノバや葵タワー、静岡市美術館等を予定どおり整備した。

○清水地区は、「ひと、まち、港がつながる豊かな暮らし・にぎわい拠点づくり」をコンセプトに、居住人口の増加や観光交流客数の増加等を目指し、文化会館や、仕事・ものづくり体験施設、商業、住戸等を併設する建物を予定どおり整備した。

(計画期間:平成21年3月～平成26年3月)

【中心市街地の変化】

○静岡地区の事業は概ね予定どおり実施され、施設利用者数目標は達成したものの、その他の指標は未達成となった。

○清水地区はいずれの指標も未達成となったものの、ハード整備事業を面的に実施したことで、都市機能の拡充等が図られ中心市街地は明るい兆しを取り戻しつつある。

【目指す中心市街地像】

まちで豊かな時間を過ごす(市民生活の向上)
事業活動の好転(地域経済の発展)

【新計画の各目標の主要な事業】

- 「静岡」静岡呉服町第二地区第一種市街地再開発事業
静岡七間町地区優良建築物等整備事業
「清水」(仮称)清水区本郷町大規模小売店舗跡整備事業
富士山コスプレ世界大会・大道芸ワールドカップ in 静岡 など
- 「静岡」歴史文化施設建設事業
静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター移転・運営事業
「清水」清水港まぐろきっぷ・清水港マグロまつり
静岡鉄道新車両導入事業 など

■前計画の目標

	目 標	指標	基準値 (H19)	目標値 (H25)	最新値 (H25)
静岡地区	「人」が主役の憩い・くつろぎのまち	歩行者通行量	28,232人	30,500人	24,784人
	「人」が集まる魅力・にぎわいのまち	年間小売販売額	1,553億円	1,684億円	1,336億円
		施設利用者数	168万人	180万人	212万人
清水地区	暮らしたくなる みなとまち	居住人口	6,715人	7,484人	6,857人
	にぎわいあふれる みなとまち	観光交流客数	728万人	800万人	633万人
	魅力がつながる みなとまち	歩行者通行量	8,394人	8,400人	7,395人

■新計画の目標

	目 標	指標	基準値 (H26)	目標値 (R3)
静岡地区	“わくわくドキドキ、 にぎわいと活力のまち	主要な通りの 店舗・事業所数	540件	555件
	“てくてくらくらく、 あちこち巡るずっと居たいまち	歩行者通行量	6,445人	7,123人
清水地区	“わくわくドキドキ、 にぎわいと活力のまち	観光客数	646万人	677万人
	“てくてくらくらく、 あちこち巡るずっと居たいまち	滞在時間	2.8時間	3.0時間

静岡市中心市街地活性化基本計画の事業概要《静岡地区》

“わくわくドキドキ、にぎわいと活力のまち

①静岡呉服町第二地区第一種市街地再開発事業

建物が老朽化している地区において、防災を強化し、都市機能を増進するため、商業・業務施設、駐車場、多目的ホール、高齢者施設(約100戸)等を整備する。

②静岡七間町地区優良建築物等整備事業

映画館の撤退により人通りが減少していることなどから、低未利用地の土地と老朽化した低層の建築物が混在する地区において、商業施設、保育所、駐車場、駐輪場、住宅(170戸)を整備する。

○企業立地促進助成(クリエイター事務所賃借料補助)実施事業

静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター(旧クリエイター支援センター)の移転と共に、クリエイターの集積を図るため、静岡地区内のクリエイター事務所への建物賃借料を補助する。

“てくてくららく、あちこち巡るずっと居たいまち

③静岡市歴史文化施設建設事業

市の歴史的・文化的資源を、将来にわたり保存・伝承すると共に、魅力を市内外に発信し、歴史観光を促進するため、拠点施設の整備を図る。

④静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター移転・運営事業

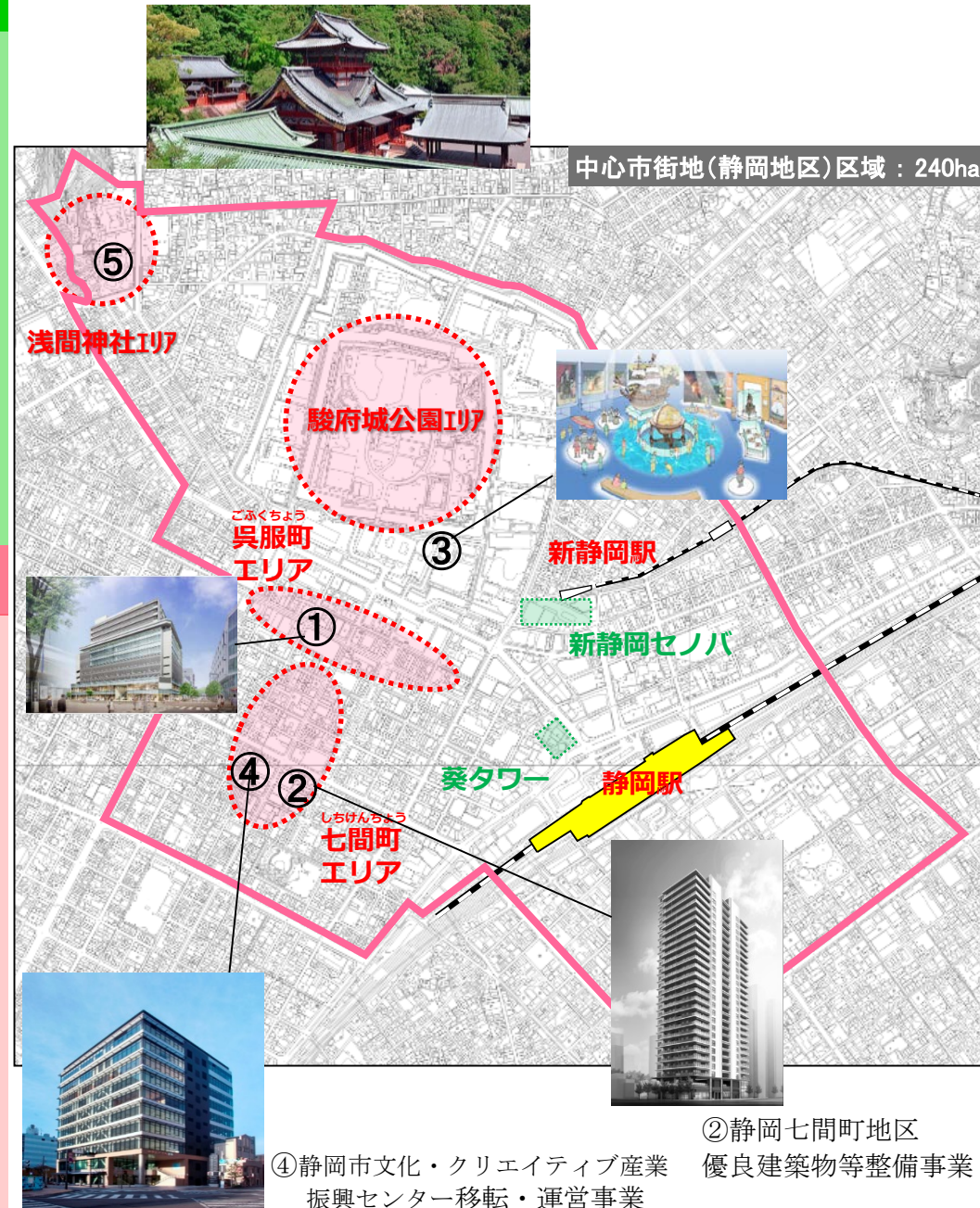
クリエイターの発掘・育成・起業や、クリエイティブ産業の振興を図るため、創造的活動拠点を七間町エリアに移転・運営する。

⑤静岡浅間神社保存修理事業

静岡地区の中心的な観光資源であり、経年劣化が進んでいる重要文化財建造物群である静岡浅間神社を次世代に継承するため、当該建物の保存修理や修理状況を公開する。

○静岡駅北口周辺整備事業(紺屋町地区)

静岡地区における歩行者の安全と回遊性を向上させるため、呉服町通線(紺屋町地区)のモジュール化推進に向けた空間活用検討、地元主体のまちづくりのルール化検討等を実施する。



静岡市中心市街地活性化基本計画の事業概要《清水地区》

“わくわくドキドキ、にぎわいと活力のまち”

①（仮称）清水区本郷町大規模小売店舗跡整備事業

清水区本郷町の大規模小売店舗が閉店したことで居住者の利便性は低下していたが、その跡地に商業施設を整備することで改善すると共に、ホテル、共同住宅、駐車場等のにぎわい・生活拠点を整備することで、都市機能としての改善も図る。

②富士山コスプレ世界大会・大道芸ワールドカップ in 静岡

サブカルチャーイベントやパフォーマンス活動などの「劇場型活動」を推進することで、市民や来街者を引きつけ、まちのにぎわいを創出する。

○清水港客船誘致事業

アジアからのクルーズ船の寄港数は日本全体で増加傾向にあり、清水港においても寄港数を増加させ、地域経済活性化やにぎわい創出につなげるため、清水港への客船や帆船の寄港について調査するとともに、積極的な誘致活動を行う。



“てくてくらくら、あちこち巡るずっと居たいまち”

③清水港まぐろきっぷ・清水港マグロまつり

まぐろ等を扱う飲食店の食事券や、清水地区内及び隣接する三保半島の観光施設を巡る路線バス・水上バスの利用券がセットになった清水港まぐろきっぷや、清水駅周辺でまぐろ関連イベントを行う、清水港マグロまつりにより、区域内のにぎわい創出や回遊性向上を図る。

④静岡鉄道新車両導入事業

供用開始から40年が経過し、老朽化している静岡鉄道の車両を、車内液晶画面による情報提供や車いす・ベビーカー用スペース、バリアフリー化に対応した新たな車両に更新し、静岡地区と清水地区を快適に移動できる環境を整える。

⑤清水都心ウォーターフロント活性化推進事業

物流機能の立地再編等により、清水港が「はたらく港」だけでなく「たのしむ港」となることから、親水拠点としてのにぎわい創出に向けて、清水港ウォーターフロントにおいて、フリトラ市、オープンカフェ、花の植樹等を実施する。

